



博物館の窓

第112回

学芸員 持田 誠

博物館では、浦幌の奥座敷である留真温泉の休憩室で、まちなか展「留真温泉の歴史」を開催しました。留真温泉での展示は、昨年春に実施したひな人形展示に続き、2回目です。

留真温泉は明治三〇年代に、常室の「善勝寺」住職によって発見され、当初は浦幌炭鉱が保養施設として経営。その後、民間の温泉旅館の時代を経て、現在の姿へと発展してきました。

本展では、歴史を解説したパネルのほか、当時のマッチやタオルなど、収蔵資料のなかから展示しました。



留真温泉の休憩室で開催した展示「留真温泉の歴史」昔のタオルや灰皿、マッチなどを展示しました。